



放射線相談室だより ~6月号~

平成 29 年 6 月 16 日

1 家屋のモニタリング

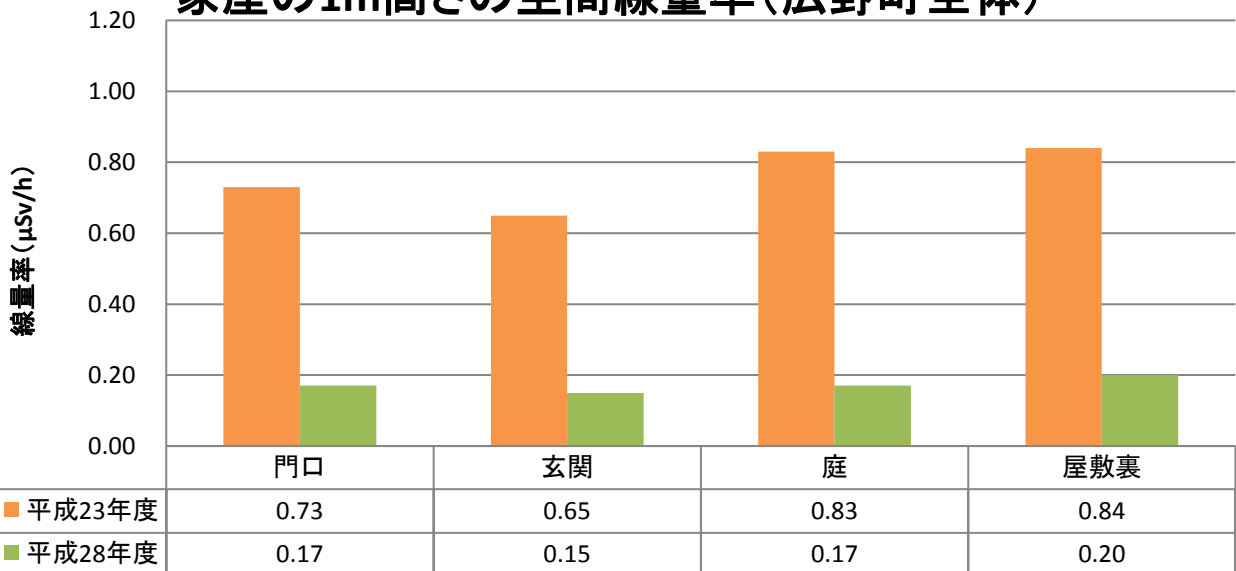


放射線相談室だより 24 号(平成 28 年 12 月発行)にて予告しました、平成 23 年度(除染前)と平成 28 年度(除染後)の家屋モニタリングのデータをご報告します。

下のグラフの値は、家屋の 1m 高さの空間線量率の 95%タイル値を示しています。これは、「多くの家屋(95%の家屋)はこの値以下ですよ」ということを表しています。

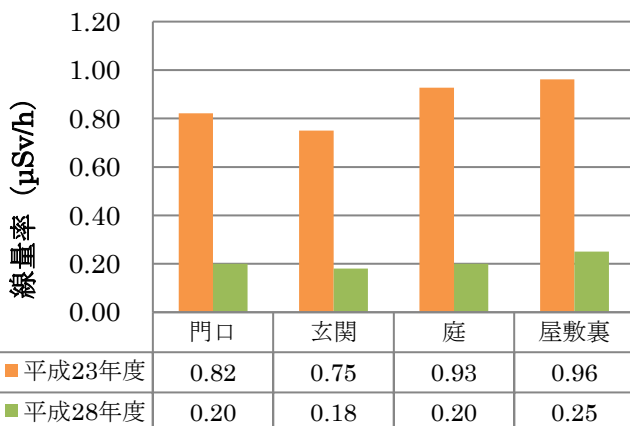


家屋の1m高さの空間線量率(広野町全体)

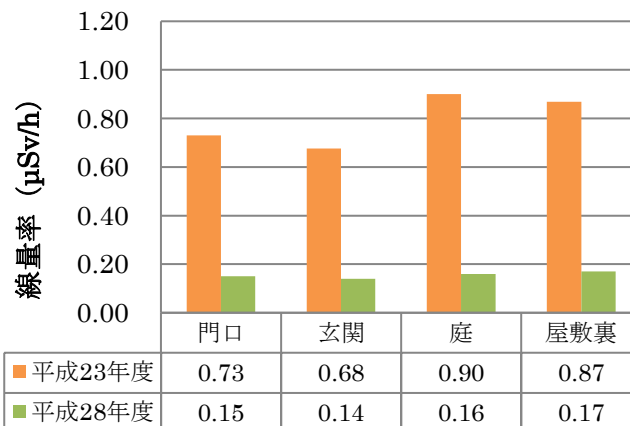


それでは各地区の家屋モニタリングのデータを見てみましょう。

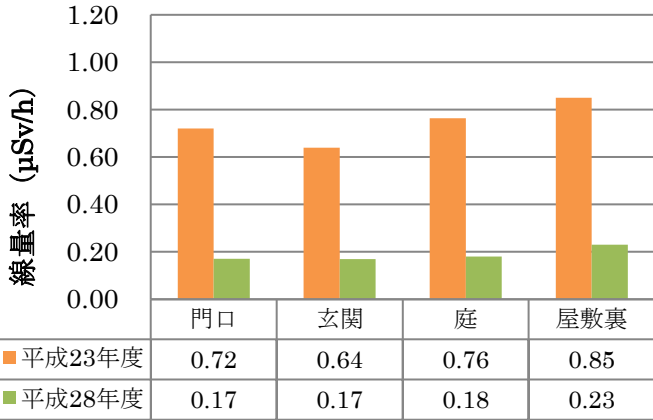
家屋の1m高さの空間線量率(上北迫)



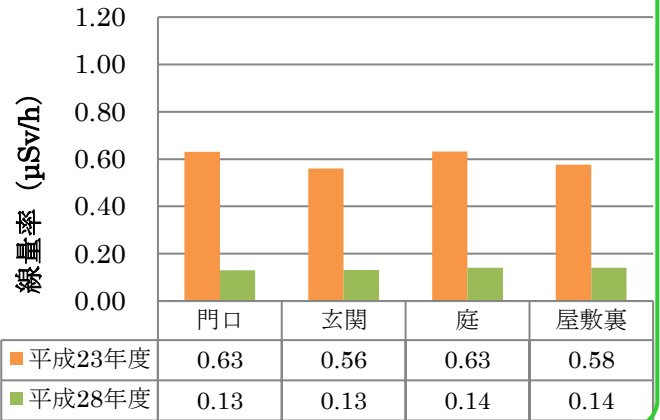
家屋の1m高さの空間線量率(下北迫)



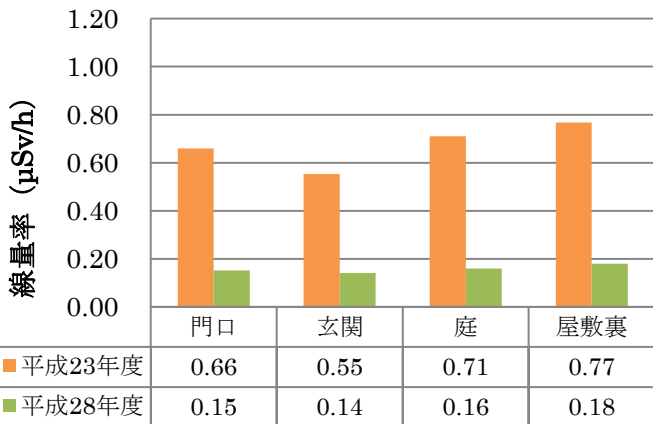
家屋の1m高さの空間線量率（上浅見川）



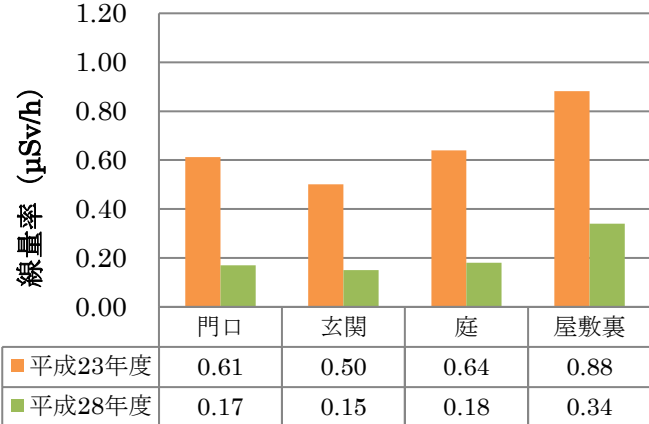
家屋の1m高さの空間線量率（下浅見川）



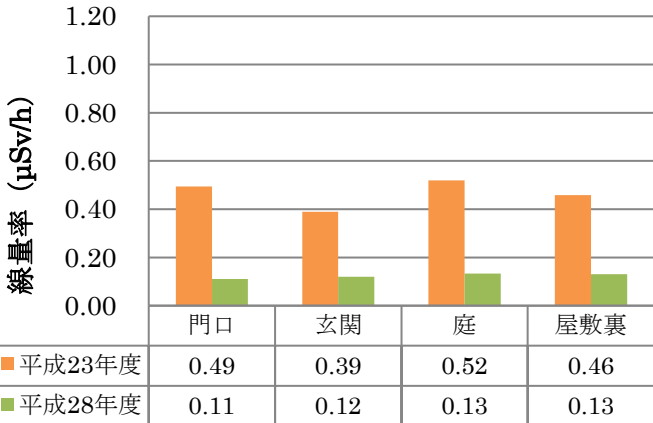
家屋の1m高さの空間線量率（折木）



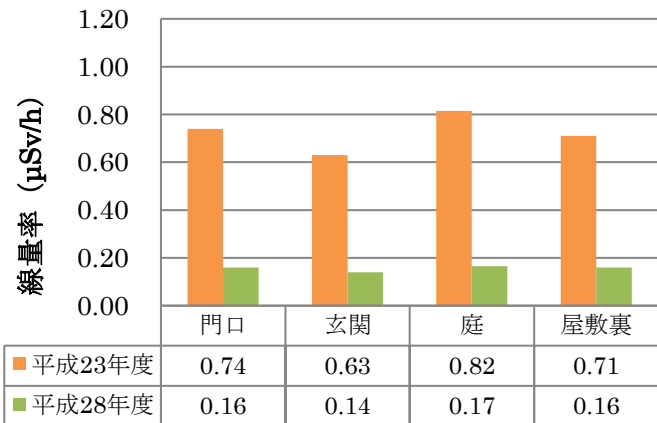
家屋の1m高さの空間線量率（夕筋）



家屋の1m高さの空間線量率（中央台）



家屋の1m高さの空間線量率（広洋台）



24号にてお知らせしたときは、屋敷裏の空間線量率のみが0.25 μ Sv/hであり、0.23 μ Sv/hを超えていました。平成28年度の結果では、屋敷裏でも0.23 μ Sv/hを下回っており、年々線量が下がってきているのが分かりますね。



食品のモニタリング結果総括表

(平成 29 年 5 月実施分)



【基準値】：一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品		検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜		13	13	0	
根菜・芋類		3	3	0	
山菜・きのこ		24	24	0	
果物		2	2	0	
穀類		0	-	-	
種実類		1	1	0	
魚介類		0	-	-	
加工食品		1	1	0	
飲料水		0	-	-	
その他(肉類など)		1	1	0	
出荷などを差し控えるよう要請している広野産の食品 (平成 28 年度:福島県公表)		検査数	基準値未満	基準値以上	備考
出荷制限	くさそてつ(こごみ)	1	1	0	
	たけのこ	39	30	9	
	ふきのとう(野生のもの)	0	-	-	
	ぜんまい(野生のもの)	5	2	3	
	たらのめ(野生のもの)	2	2	0	
	わらび(野生のもの)	3	3	0	
	こしあぶら	6	1	5	
	うど(野生のもの)	2	2	0	
	原木しいたけ(露地)	1	1	0	
	野生きのこ(菌根菌類、腐生菌類)	0	-	-	
	キジ、ヤマドリ、カルガモ	0	-	-	
摂取制限	イノシシ	0	-	-	
総検査数		104	87	17	

食品モニタリング結果の詳細については、食品分析検査センター(公民館内)と放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右の QR コードを読み取ったあと、東日本大震災→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所	放射能簡易分析検査センター(公民館1階)
曜 日	月曜日から金曜日(祝日を除く)
受付時間	午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 まで

3

広野町各地区の放射線量



平成 29 年 6 月 12 日 8 時 30 分現在（天候：晴れ）の町内 54 カ所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

地区	測定箇所	放射線量率(μSv/h)	地区	測定箇所	放射線量率(μSv/h)
中央台地区	広野小・中学校	0.09	下北迫地区	町道築地～新町沿(西町)	0.15
	広野町保育所	0.10		高野病院	0.10
	広野町児童館	0.11		広野町役場	0.10
	広野町老人福祉センター	0.07		浜田地区集会所	0.06
	広野町公民館	0.08		下北迫地区集会所	0.07
広洋台地区	広洋台地区集会所	0.11		苗代替地区集会所	0.08
	Jヴィレッジスタジアム入口	0.12		ひろのてらす入口 ^{注1}	0.11
	Jヴィレッジ東側	0.18		のびっこらんど広野	0.11
	ニツ沼公園 ^{注2}	0.10		広野工業団地入口	0.15
	ニツ沼公園直売所	0.10		高速バス利用者駐車場	0.18
上浅見川地区	長畑地区集会所	0.12		上北迫地区	町道北迫線(北の内前)
	大谷内消防屯所	0.12	土ヶ目木農集排施設		0.13
	旧家畜牛削蹄場跡(南山)	0.17	上田郷橋付近 ^{注1}		0.22
	小滝平浄水場 ^{注2}	0.09	二本櫛集会所		0.09
	浅見生活改善センター	0.07	上北迫地区集会所		0.09
	小松地区集会所	0.06	鍋塚橋付近 ^{注1}		0.14
	箒平地区集会所	0.08	田の神地区集会所		0.09
下浅見川地区	広野幼稚園	0.10	折木地区上	亀ヶ崎地区集会所	0.12
	ふたば未来学園高等学校	0.06		折木地区集会所	0.11
	山忠設備工業南側公園	0.12		北沢複合交差点	0.17
	広野駅前広場	0.11		東下地区集会所	0.07
	桜田地区集会所	0.10		南沢地区集会所	0.08
	広桜荘	0.11		西の沢 ため池駐車場	0.09
	下浅見川地区集会所	0.06		折木地区下	国道大平交差点
	第3分団消防屯所入口 ^{注1}	0.08	県道広野～小高線沿		0.16
	築地地区集会所	0.08	正木内地区集会所	0.08	
仮置場	0.12	折木館地内	0.09		

注 1 平成 29 年 3 月設置。

注 2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地では nGy/h（ナノグレイ毎時）で表示されていますが、μSv/h に換算して掲載しています。

放射線健康対策委員からの 放射線に関するコラム

今後、森林のセシウムはどうなるのか



千葉大学大学院 園芸学研究科教授 小林 達明

大部分林床にあるセシウムをコナラやミズナラなどの広葉樹は吸収しています。一方、アカマツはほとんど吸収していませんし、スギの吸収量も少ないようです。また、生育のよい樹木ほどたくさん吸っている傾向にあります。樹木に吸収されたセシウムは、葉に運ばれて秋には落葉によって林床に還元されるものと、着葉期間中に樹冠を通して林内に降る雨に溶け出るものと、樹木の体内に留まるものに大別されますが、川俣町山木屋地区の2016年の調査結果では、林床にある放射性セシウムの1%弱が吸収され、林内をぐるぐる回っています。

このうち木材に留まるものが、総合吸収の20%です。事故当時1000kBq/m²の放射性セシウムが降下沈着したと考えられる林では、2016年春のコナラの辺材の放射能密度が400~920Bq/kgでしたが、晩秋には平均で1.23倍増加していました。物理的半減期で現在年5%ほど放射能は自然減少していますが、放射性セシウムの吸収量はより大きいので、広葉樹木材の汚染はしばらく進行していくと思われます。今後、もう少し正確な予測を行い、対策を考えたいと思います。



幹材のサンプル採取の様子

最近の出来事



4月17日(月)相談員が土壌採取の研修会に参加しました。研修会では東京大学野川憲夫先生に、土壌の採取方法・手順等を教えていただき、実際に土壌採取を行いました。研修会には、楢葉町・富岡町の職員の方も参加しました。

相談室では、この研修会で学んだことをいかして、町内50カ所の地点で土壌を採取します。今年度からは、採取した土壌を東京大学へ送り、放射性物質の検査をしてもらうこととなっています。



5月1日(月)南相馬市で新たに採用となった相談員の方々に広野町放射線相談室の取り組みについて説明しました。南相馬市の相談員の方から、広野町の現在の状況についての質問があったり、説明後の意見交換会にて話し合ったりしました。



発行者 広野町放射線相談室 080-9252-4773

広野町健康福祉課放射線健康相談係 0240-27-2113